

令和2年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【技術・家庭（技術分野）】 学年【1年】

関 生活や技術への関心・意欲・態度
 創 生活を工夫し創造する能力
 技 生活の技能
 知 生活や技術についての知識・理解

月	単 元 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
10 ・ 11	生活に役立つ製品を作ろう	製作品の機能と構造 構想の表示方法と製作図 製作の作業手順 けがき 切断 部品加工 組立て 表面処理	関 工 技 知	材料の加工方法について、意欲的に学ぼうとしている。 省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的環及び経済的側面などから、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。 工具や機器を安全に使用し、作品を制作しようとしている。 製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法などで書き表すことができる。 材料の加工方法について理解しようとしている。 等角図・キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方についての知識を身に付けている。	加工する際のポイント、注意点などを具体的に示すことができる。 省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作することができる。 材料・使いやすさ及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。 工具を扱ううえでのポイントや注意点などを踏まえて、実習時に実践することができる。 製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法などで書き表すことができる。 材料の加工方法について、具体的に説明することができる。 等角図、キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方について、具体的に説明することができる。	授業の様子 学習プリント 作品 定期テスト
12 ・ 1	持続可能な社会のための技術		関 創 技 知	材料と加工に関する技術の課題を見付け、社会的・環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするともに、適切な解決策を示そうとしている。 材料と加工に関する技術の課題を進んで明確にし、社会的・環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。 材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	社会的・環境的要素から適切な解決策を示し、実践できる 適切な解決策を示し、実践できる 社会や環境に対しての役割や影響を説明できる	授業の様子 学習プリント 定期テスト
2 ・ 3	情報とは	コンピュータの仕組み 情報のデジタル化 情報通信ネットワークの仕組み 情報モラル	関 創 技 知	情報社会において適正に活動しようとしている。 情報に関する技術の利用場面に応じて、適正に活動している。 コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。 著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任についての知識を身に付けている。	情報社会においてどのように活動しているのかを説明することができる。 情報に関する技術をどのように適切に活用しているのか、具体的に示すことができる。 コンピュータ機器の基本構成が説明でき、利用に必要なデジタル化の方法や利点を説明でき、実践することが出来る。また、情報モラルについて説明できる。	授業の様子 学習プリント 定期テスト